

クボタ空調株式会社

使用製品：メディエイド アイシングギア ベスト2

— 企業紹介 —

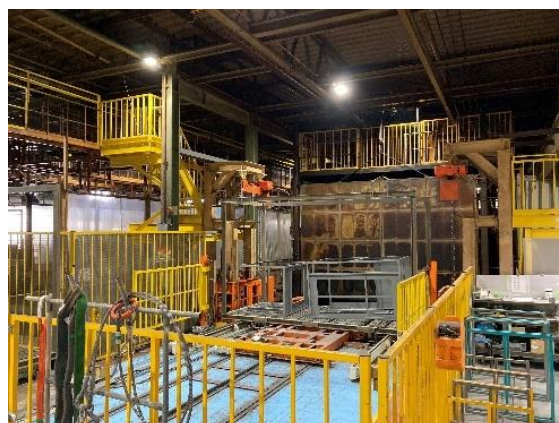
大型ビル・商業施設・工場向けのセントラル空調機を製造するクボタ空調株式会社。国内外から高い評価を得る同社の製造工場では、高温職場や屋外作業者の暑さ対策が大きな課題となっていました。そうした現場で採用されたのが、酷暑環境でも冷感を得られる「メディエイド アイシングギア ベスト2」。導入を決めた背景や従業員の評価、現場での具体的な活用法について伺いました。



▲ 栃木工場(栃木県宇都宮市)

— 導入の決め手は、屋内外を問わず確実に冷感を得られること —

当社の工場では、塗装工程に乾燥炉があるので周辺の作業場温度は40℃以上に達します。また荷受け業務など常に屋外で行う作業も一部あり、そのような暑い現場で作業される方の暑さ対策は常に検討していました。ファン付きウェアを導入したものの、気温が35℃以上の猛暑日には熱風が送り込まれてしまうため、従業員の十分な暑さ対策にはなりませんでした。また、チラー方式の冷却服もデモしてみましたが、タンクと冷却服を繋ぐホースが移動の妨げになり、移動が多い作業現場には向きませんでした。他の新たな選択肢を探る中、展示会で試着した「アイシングギア ベスト2」に着目しました。**屋内外など周りの環境に左右されにくく、確実に冷感を得られる点が「アイシングギア ベスト2」導入の決め手**です。背中にユニットを背負う方式なので動作の妨げにならず、動き回ることが多い現場で使用できることも期待しました。



— 現場の声・導入の成果 (どのような作業場でも確実に冷たさを感じる) —

酷暑である塗装工程や炎天下である屋外の現場まで、**どの現場からも『確実に冷たさを感じられる』という声が届いています**。展示会だけでなく、実際に現場でもちゃんと冷たさを感じられた点は期待通りでした。また、導入前はユニットの重量に関して少し不安もありましたが、**実際に着用すると『重さは気にならない』という意見が多かった**です。一方で、『もっと全体的に冷えると良いと思う』などの声も多くありました。確実に冷感を得られることはとても良いと思うので、今後更に冷却範囲が広がることに期待しています。また、まだ製品を支給していない現場からも導入の要望があったので、他の現場にも展開したいと思います。

— 導入商品：「メディエイド アイシングギア ベスト2」 —

- 35℃以上の酷暑環境でもしっかり冷感
- 初代モデル比300%超！5時間の冷却持続時間
- セパレート構造で冷感だけでなく、作業性も向上

▼商品詳細はこちら



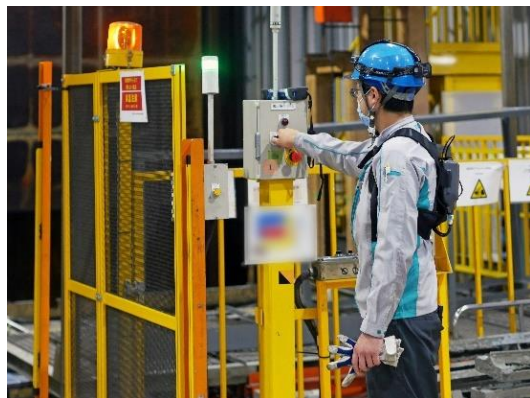
https://workerscare-mediaid.sigmax.co.jp/mediaid_icinggear_vest2

クボタ空調株式会社

— 作業現場ごとの「アイシングギア ベスト2」の評価や活用について —

▼作業現場：塗装設備の操作や塗装品の段取り

塗装設備は乾燥炉や洗浄槽(50～60℃ほど)があるため、設備周辺は高温になる作業環境です。そのような酷暑環境でも「アイシングギア ベスト2」は背中に確実に冷たさを感じられました。冷水が流れる部分は本当に涼しいので、もう少し全体的に冷感が行き渡るとありがたいです。当現場では設備の確認や段取り作業などで狭い所に入って行う作業もあり、ユニットやバッテリーをぶつけて破損させないか心配で使用を断念しましたが、冷感はあるかなものだと思います。



▼作業現場：廃棄物の処理・管理

常時屋外での作業で、近年の酷暑の影響もあり暑い日は40℃近くになります。そのような日にファン付きウェアを着ても熱風しか入ってこず、厳しさを感じていました。そこで私は「アイシングギア ベスト2」のインナーの上にファン付きウェアを重ねて着ています。「アイシングギア ベスト2」で背中を確実に冷やしつつ、その冷気で涼くなった風が身体に当たるので快適です。「アイシングギア ベスト2」とファン付きウェアを併用し始めたことで、かなり楽に作業ができるようになりました。



— 酷暑環境で働く方々の健康をサポート —

クボタ空調様では『全従業員が快適に働ける職場』を目指し、日々作業環境の改善を進められています。その中で採用された「アイシングギア ベスト2」。クボタ空調様をはじめとして酷暑環境で働く従業員の健康を更にサポートできるよう、今後も製品のアップデートを進めていきます。

— 「アイシングギア ベスト2」の導入ポイント —

- 屋内外等の作業環境に左右されず確実に冷感を得られる
- 冷却ユニットを背負う方式なので動き回ることが多い現場で使用できる